

平成21年度会計別予算額

会計区分	補正前の額	6月補正額	合計	
一般会計	229億5,000万円	11億3,653万円	240億8,653万円	
特別会計	国民健康保険特別会計（事業勘定）	53億130万円	53億130万円	
	国民健康保険特別会計（直診勘定）	8,420万円	900万円	9,320万円
	老人保健医療特別会計	2,143万円		2,143万円
	後期高齢者医療特別会計	4億5,620万円		4億5,620万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	75万円		75万円
	農林業集落排水事業特別会計	6億1,020万円		6億1,020万円
	下水道事業特別会計	26億6,830万円		26億6,830万円
	マキノ白谷温泉事業特別会計	290万円		290万円
	市営バス事業特別会計	2,720万円		2,720万円
	熱供給事業特別会計	1,390万円		1,390万円
	土地取得特別会計	3,326万円		3,326万円
	介護保険事業特別会計	37億2,850万円		37億2,850万円
	訪問看護ステーション事業特別会計	7,900万円		7,900万円
合計	130億2,716万円	900万円	130億3,616万円	
事業会計	水道事業会計	14億9,103万円		14億9,103万円
	病院事業会計	42億8,381万円	1億3,422万円	44億1,803万円
	介護老人保健施設事業会計	3億4,115万円		3億4,115万円
	合計	61億1,599万円	1億3,422万円	62億5,022万円

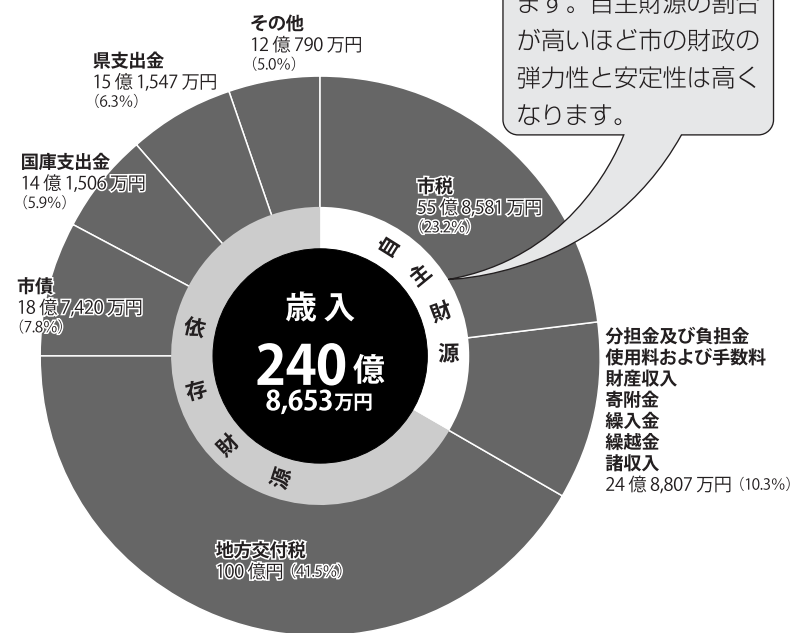
〈一般会計歳入の内訳〉

	金額	対前年度増減率
市税	55億8,581万円	△4.8%
分担金及び負担金等	24億8,807万円	2.6%
地方交付税	100億円	-
国庫支出金	14億1,506万円	2.6%
県支出金	15億1,547万円	△11.6%
市債	18億7,420万円	31.4%
その他	12億790万円	△8.1%
合計	240億8,653万円	△0.2%

※対前年度増減率は、平成20年度の当初予算との比較です。

おことわり

グラフや表などは、1万円未満を切り捨てしているため、金額の合計が一致しない場合があります。



市税などの自主財源は全体の3割程度で残りの7割は依存財源が占めており、国や県に頼る割合が多くなっています。自主財源の割合が高いほど市の財政の弾力性と安定性は高くなります。

一般会計歳入

歳入では、農業施設の整備に係る分担金や情報通信基盤整備等のため、生活対策等臨時交付金基金の取り崩

しによる繰入金、前年度繰越金など6億4,883万5千円を計上し、自主財源は当初予算と合わせて80億7,389万5千円となりました。一方で、景気悪化による雇用対策資金として、ふるさと雇用再生特別推

(4ページに続く)

一般会計
240億8,653万円
(対前年度比 0.2%減)

特別会計
130億3,616万円
(対前年度比 14.1%減)

総計
433億7,291万円
(対前年度比 2.9%減)

事業会計
62億5,022万円
(対前年度比 17.1%増)

6月補正予算の概要

西川市長就任後初めての本格予算となる平成21年度6月補正予算が6月議会で承認され、決定しました。

当初予算は、市長就任直後であったため骨格予算となっていました。今回の補正で新規事業や政策的経費にかかるものを追加計上し、実質的な平成21年度の本格的予算となりました。一般会計予算は、11億3,653万7千円を追加し、当初予算と合わせて240億8,653万7千円となりました。経済状況の悪化や厳しい財政運営のなか、どのような施策が必要かを見極め、「市民の皆さんが笑顔で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、「子育て支援」、「市民の生活支援」、「防災対策」、「地域経済対策」に重点を置き予算を編成しました。

政策的経費を含む 今年度の本格的予算固まる